

ゆるゆる

謹賀新年



撮影 佐藤 篤さん

目次

新年のごあいさつ.....2	年男・年女ご紹介.....6
年頭のごあいさつ／理事会だより.....3	委員会だより.....7・8
事業実績について／理事・監事候補者選考委員会設置／ コラム.....4	シルバーの日／とれたて!なばり2018.....9
シルバー懇談会Q&A／名張市SCへのご寄付企業...5	寿会(互助会)だより.....10・11
	事務局だより.....12

名張市総人口 78,878人 男性 38,097人(内60歳以上 14,011人 シルバー会員 716人)
 女性 40,781人(内60歳以上 16,637人 シルバー会員 306人)
 平成30年12月1日現在

新年のごあいさつ



理事長
藤田 嘉矩

あけましておめでとうございます。
 会員の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。
 皆さまには、平素から当センターの事業運営にご協力・ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
 また、昨年は当センターが設立30周年を迎え、この慶事を祝うために記念式典を開催いたしましたところ、多くの会員や来賓の方々のご出席のもと、和やかで盛會な式典となり、“名張市シルバー人材センターここにあり”と強く内外にアピールさせていただくことが出来ました。改めて深く感謝申し上げます。

さて、当センターは、高齢者が自らの自助努力によって、働く機会を通じて生きがいを求め、併せて地域社会に貢献しようとする、会員皆さまの自主的な組織です。この組織である当シルバー人材センターの適正な運営については、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、会員の皆さまが共に働き、助け合い、地域の担い手として元気に活躍していただくことが必須であり、このためにもシルバーとしての在り方や使命を強く意識し、さらなる充実発展に努めなければなりません。

そういった中、当センターでは、会員拡大や会員の高齢化、適正就業への取り組み、就業開拓など多くの課題が山積していますが、会員の皆さまのご協力をお願いしつつ、役職員一丸となり誠実かつ責任をもって問題解決に取り組むことによって、安定したセンター運営の継続と健全なセンター基盤の構築を図り、会員の皆さまお一人おひとりが「シルバーに入ってよかった。」と満足していただける名張市シルバー人材センターを目指して参りたいと考えています。

また、会員の皆さまには「自分たちのセンター」として愛着を持っていただくためにも、総会や懇談会、シルバーの日の奉仕活動、互助会活動などの事業や行事への積極的な参加についてのご高配をお願いしておきたいと存じます。

最後になりますが、会員の皆さま・関係各位の更なるご指導をお願い致しますとともに、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



寿会 会長
橋場 茂


あけましておめでとうございます。
 寿会会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
 昨年は、寿会も設立25周年の記念すべき年にあたり新しい事業の一環として念願でございました寿学校の開校が出来ました事は最大の喜びでありました。

会員の皆さんは縁あって名張にお住まいになられたからには地域の歴史や伝統を学び名張を知り、これからの地域活動に参画して自分達の住みよい街づくり、明るい街づくりに貢献出来れば誠に素晴らしい事ではないでしょうか。

お陰様で皆様方に趣旨をご理解いただき、準備段階からご尽力いただきました。寿会幹事の皆様を始めセンター事務局の方々、理事各位、シルバー会員の皆様と全ての方々に、心より厚くお礼申し上げます。お陰様で出席いただいた、生徒の皆さんからも大変ご好評をいただいております。これに驕らず本年度も第2期の運営に授業内容にも、一層の充実を図り、ますますの発展を目指していく所存でございますので、温かいご支援を何卒よろしく願いいたします。

一方で、寿会を取り巻く情勢は非常に厳しく、一昨年より取り組んでおります事業活動の内容にいたしましても、厳しい改善案も討議されており、シルバーの日の奉仕活動費・親睦旅行の実施内容の見直し、10月からは消費税10%実施も予定され、経費の削減を一段と見直さなければならないことは必至でありましょう。そのような中で寿会の組織化の運営にも改善を要求される意見も出されております。シルバー人材センターの正会員は寿会の会員でもあり和気藹々と助け合う仲間である事の精神が少しずつ揺らいでいるように思われてなりません。過去の経緯にとらわれずに私達の寿会は自分達の手で、仲間の皆様のご意見等を十分に受け止めて、寿会幹事は本年度も諸問題に取り組んで参りますので会員の皆さまの温かいご指導とご鞭撻をいただきます様お願いいたします。

平成も4月末で終わり、5月からは新しい年号に変わります。輝かしい、活動的な年で一層の前進を期待して、また会員皆様方におかれましては益々のご健勝で生涯現役を目標に、健康管理には十分ご留意されますとともに、ご家族皆様方のご多幸を祈念申し上げまして年頭のごあいさつとさせていただきます。



事務局職員一同

監
事

山崎 祥生
杉本 一徳
野村 伸夫
家嶋 由子
福島 俊洋
佐藤 辰二
小林 正巳
松田 和子
山中 統雄
奥村 庄蔵
中子 久蔵
小林 栄蔵
古谷 和宏
森嶋 栄蔵
中野 良夫
堀出 嘉矩
藤田 嘉矩

理 常 副 理
務 理 事
理 事 長 長
事 事 長 長

平成三十一年
迎春

会員の皆様にとって
良い年でありませう
お祈り申し上げます

年頭のごあいさつ



名張市長
亀井 利克

あけましておめでとうございます。

シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、旧年中は市政各般にわたり、格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、大阪北部地震、北海道胆振東部地震といった大地震や、平成30年7月豪雨など自然災害が多発し、日本各地が甚大な被害に見舞われました。

私も平成30年7月豪雨で被災された岡山県総社市へ赴き、現状を目の当たりにしましたが、自然の脅威を改めて痛感するとともに、訓練を含めた日頃の備えが大切であると再認識させられたところでございます。名張市におきましても、一昨年の台風21号で東山墓園の一部が崩落するなどの災害が発生しており、4月から体制を強化し、関係の皆様のご理解とご協力を賜りながら、早期復旧に向けて全力で取り組んでいるところでございます。貴センター会員の皆様方にも、東山墓園の復旧作業にご尽力いただき、市といたしましても大変心強く感じております。

今、我が国は、少子化による急速な人口減少と高齢化という未曾有の危機に直面しております。高齢化と人口減少社会の到来に立ち向かうためには、市民の皆様や地域、団体の皆様らが主体となって、お互いに助け合い、共に生きる社会を目指す「地域共生社会」の構築こそが必要です。このような状況の中、名張市では、若年層の皆様が名張で子育て、教育をということで転入いただいております。平成25年以降、15歳未満の人口の転入が転出を上回る傾向が続いております。このことは、名張版ネウボラをはじめとする妊娠・出産・子育てに関する支援のほか、小児救急医療センターの開設や教育環境の整備などの成果だと考えております。

また、活力のある地域社会を維持するには、高齢者の皆様が生涯現役として多様な形で社会参加でき、健康で生きがいを感じながら生活できる社会を創り上げていくことが重要です。昨年は、「ばりばり現役プロジェクト」による特定健診やがん検診受診率の向上、糖尿病重症化予防などに取り組むとともに、健康づくりポイント制度「名張ケンコー！マイレージ」を通年実施に変更し、様々なイベントや行事に拡大実施することで、より多くの皆様に健康増進の機会を提供してまいりました。引き続き、「元気創造」、「若者定住」、「生涯現役」の3大政策を市政推進の原動力として、各種施策や事業を推進してまいります。

結びに、今後も高齢化と人口減少社会に対応し、「地域共生社会」のさらなる進化発展を目指してまいりたいと存じますので、皆様方には引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げますとともに、今年一年が皆様方にとりまして幸多き年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

理事会だより

平成30年7月から11月に開催しました理事会の概要をお知らせします。

第2回 7月20日(金)

議事

- (1)各種委員会委員の変更について

報告事項

- (1)平成30年5月～6月の入退会者について
- (2)平成30年5月～6月の事業実績について
- (3)設立30周年記念事業報告について



第3回 9月20日(木)

議事

- (1)特定公益増進法人への寄付依頼について
- (2)「シルバーの日」の取り組みについて
- (3)シルバー懇談会の開催について
- (4)「シルバーいきいきフェスタ2018」の取り組みについて
- (5)「とれたて！なばり2018」の取り組みについて

報告事項

- (1)平成30年7月～8月の入退会者について
- (2)平成30年7月～8月の事業実績について
- (3)三重県安全・適正就業パトロールの実施結果について

なお、午後より会員理事は特定公益増進法人への寄付依頼に各社へ訪問しました。

第4回 11月16日(金)

議事

- (1)理事・監事選考委員会の協議事項について

報告事項

- (1)平成30年9月～10月の入退会者について
- (2)平成30年9月～10月の事業実績について
- (3)特定公益増進法人への寄付依頼結果について
- (4)「シルバーの日」の実施結果について
- (5)シルバー懇談会の実施結果について
- (6)「シルバーいきいきフェスタ2018」の参加結果について
- (7)「シルバー福祉・家事援助サービス月間」の取り組みについて
- (8)職務執行状況について

以上審議されいづれも承認可決されました。

事業実績について

平成30年度上半期(平成30年4月～9月まで)事業実績

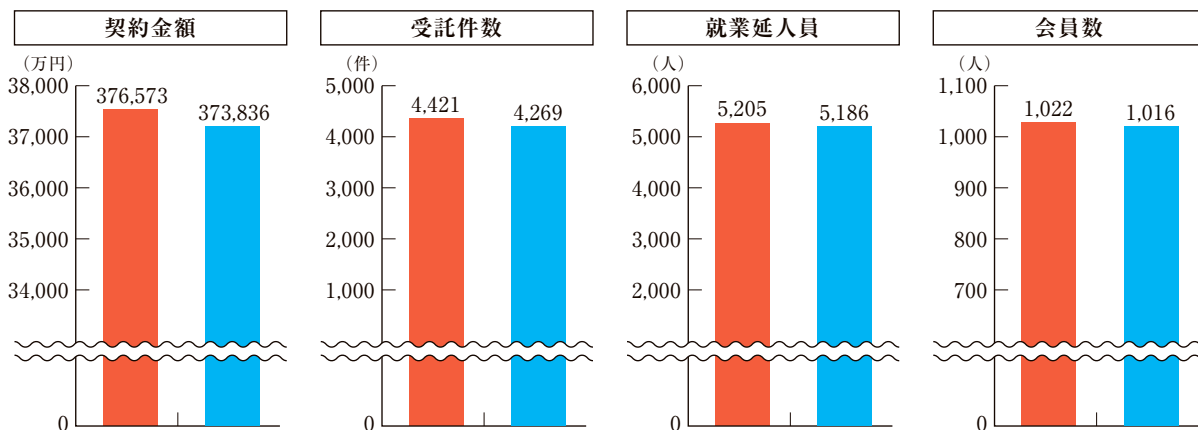
平成30年度上半期の事業実績については、9月末現在、会員数1,002人、契約件数2,844件、就業延日数55,536人日、就業実人数816人、就業率87.5%、契約金額267,112千円と、それぞれ堅調に推移しています。特に適正就業の観点から推進を図っているシルバー派遣については、契約金額が対前年度2.5倍増と急伸しています。改めて会員の皆さまのご精進ご尽力に感謝いたします。

11月末現在

前年度との比較

平成30年11月30日現在

平成29年11月30日現在



理事・監事候補者選考委員会設置

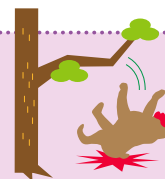
現在の理事・監事の任期は、平成31年度に開催される定時総会(日時未定)までとなっているため、次期の役員選考に向け、第4回理事会(平成30年11月16日(金)開催)において「理事・監事候補者選考委員会」が設置されました。委員は次の10名の皆さんです。名張中校区(山中昂理事・野田典生基幹班長)、赤目中校区(佐藤望理事・水本龍蔵基幹班長)、桔梗が丘中校区(福島俊洋理事・雨宮松雄基幹班長)、北中校区(家里由子理事・神生紘一基幹班長)、南中校区(野村伸夫理事・松岡壽夫基幹班長)。

平成30年12月4日(火)には第1回選考委員会が開催され、正副委員長「委員長・山中昂委員、副委員長・松岡壽夫委員」を選出した他、選考基準の確認や今後の選考方針及びスケジュール等を決定しました。第2回選考委員会は、平成31年1月15日(火)開催予定となっています。

高名の木登りから学ぶ

赤目中校区 小林 辰二

兼好法師が書いた徒然草の中の「高名の木登り」を私たちの安全啓発のためのよき教訓として紹介したいと思います。中高生時代、国語古文で学んだことを思い出してください。



<マナベディア(学習共用サイト)>より引用

<原文> 「高名の木登りと言ひし男、人をおきてて、高き木に登せてこず糸を切らせしに、いと危ふく見えしほどは言ふこともなくて、降るときに軒たげばかりになりて「過ちすな。心して降りよ。」とことばをかけ侍りしを、「かばかりになりては、飛び降るとも降りなん。いかにかく言ふぞ。」

と申し侍りしかば、「そのことに候ふ。目くるめき、枝危ふきほどは、己が恐れ侍れば申さず。過ちは、やすきところになりて、必ずつかまつることに候ふ。」と言ふ。あやしき下臆なれども、聖人の戒めにかなへり。鞆も、難きところを蹴出だしてのち、やすく思へば、必ず落つと侍るやらん。」

<現代語訳> 「名高い木登りと言った男が、人に指示をして、高い木に登らせて糸を切らせたところ、(作業場が高く)とても危なく見えたときには声をかけることもなく、(高い所から)降りてくるときに軒の高さぐらいになって、名人:「怪我をするな。気をつけておきなさい。」と(初めて)声をかけましたので、私:「この程度(の高さ)になれば、飛び降りても降りることができるでしょう。どうしてこのように言うのですか。と申しましたところ、名人:「そのことでございます。(高さで)めまいがし、枝が(細く折れそうで)危ないうちは、(登っている人は)自分で怖がりますから(気をつけなさいとは)申しません。失敗は、簡単などころになって、必ず起こるものでございます。」と言います。(この木登り名人は)身分の低い下人ではあるけれど、(言っていることは)徳の高い人の戒めと合致しています。蹴鞆も、難しいところ(にきた鞆)を蹴り出したあとで、(簡単などころにきた鞆をけるときに)容易だと思っていると、必ず落ちる(と言われている)ようでございます。」

私たちの作業現場でも、身の危険を感じるようなところ(作業場)より、むしろ平易に思えるようなところで事故はよく起こっています。「気の緩み」が事故を誘発させています。事故防止には、普段からの「ルール遵守」と「安全指導」の徹底はいうまでもありませんが、リーダーのアドバイスや注意喚起(気の引き締め)のタイミングが重要であることも学びます。

平成30年度 シルバー懇談会が開催されました

平成30年10月20日（土）、午前10時より名張市防災センターにおいて、69名の会員参加のもと「平成30年度シルバー懇談会」を開催しました。

懇談会では、理事長、寿会会長のあいさつに続き、事務局長による平成30年度上半期の事業報告があり、その後懇談となりました。主な質問・意見は下記の通りですが、当懇談会への会員参加者数が年々減少傾向にあることから、今後の在り方について検討する必要があります。



○質疑応答（要旨）

Q 派遣会員とセンターとの関係は。

A 派遣就業となってもセンター会員のままで、個人事業主からセンターの従業員に変わる。報酬については、「配分金」から「賃金」としての扱いとなる。

Q 「とれたて!なばり」の売上や会員来客数の実績を何らかの形で周知してほしい。

A 会員来客数を把握することは難しい。売上は、うどんや野菜等の販売での収益がある。センターの普及活動としてパンフレットなどを作成するので、全体的には約20万円の赤字でセンターの持ち出しとなるが、数少ないPRの場でもあり前向きに捉えている。

Q 会員数は維持しているが、働ける会員数はどうか。今後の展望を聞きたい。

A 会員の高齢化などで就業会員は若干減っている。事務局としては、高齢会員の就業先確保を最優先課題とし、どんな会員にもふさわしい就業先を提供できるよう努力している。

Q 剪定班の班長をしているが、負担が大きく、後任がなかなか見つからない。スムーズに交代できるような方策を検討してほしい。

A 現在の班長制度は、組織的に構築された当センターの特性であり、堅持したい。班長の負担を軽減するために、班長のサポートができるような事務局職員の増員を検討しているが、事務局が作業指示など采配を行うといった事務局主体となれば、班長制度そのものが崩壊する懸念があり、現時点では事務局は班長のサポートにとどめたい。

Q 班長手当の額を上げるなり、副班長手当を設けるなりの手立てはどうか。

A 手当が付くことで、進んで担ってくれる人がいるかは疑問。また、班長として指導力、作業力、経験など人材の面でも誰でもできる役割ではない。しかしながら検討の余地はあるので研究したい。

Q シルバー会員として会費を支払っているのに、仕事をもらえないという人がいるが。

A 未就業会員には一覧を作成し、声掛けをしている。個人の事情もあるため、就業条件のミスマッチから就業に繋がっていないケースが考えられる。事務局では会員と就業先との条件のすり合わせをするので、そういった人には来所するよう勧めていただきたい。

Q 寿学校で、シルバー理念の精神をよく説明し、良き会員を育て、より良いシルバー人材センターを作り上げてほしい。

A 寿学校は、名張のことをよく知り、地域活動になんらかの参画をしたいと発足したものであり、寿会として魅力ある会を目指して頑張っていきたい。



ありがとうございました

平成30年度特定公益増進法人（名張市シルバー人材センター）へのご寄付企業

平成30年度の「特定公益増進法人」としてのご寄付をお願いしたところ次の企業の皆様にご協力いただきました。皆様よりのご寄付金は名張市シルバー事業の推進に有効に活用し、高齢者が生きがいと誇りをもって地域に貢献できます様役立たせていただきます。

誠にありがとうございました。（ご寄付企業は以下のとおりです。順不同）

株式会社赤目山水園
株式会社アドバンスコープ
伊賀ふるさと農業協同組合
カネキタ株式会社
カネキタ株式会社名張第2工場
株式会社紀和マシナリー
ギフトシティ山城屋

株式会社タカキタ
瀧自慢酒造株式会社
株式会社長川商会
ニツタ株式会社
有限会社深山産業
双葉印刷
堀内自動車工業株式会社

株式会社マキシコーク名張工場
有限会社森本自動車
安永総合サービス株式会社
山中工業株式会社
三京ダイヤモンド工業株式会社

の皆様です

いしし
平成31年「亥」年生まれの年男・年女 になられた方をご紹介します。

「亥年」生まれの方は115名いらっしゃいますが、ご承諾いただいた方のみ掲載しています。(会員番号順)

- ①今年の抱負を教えてください。 ②あなたの生きがいは何ですか。 ③あなたの健康法を教えてください。



山口 富子
①仕事を頑張ります
②仕事です
③体を動かす事

中山 光雄
①亥年で天皇も代るので私も元気で頑張りたい
②長寿でありたい
③三度の食事少量でも食べる事

松浦 一郎
①昨日に学び、明日在ると思わず、今日生きる
②出会いと発見を求めてあらゆる場への出席
③腹式呼吸法と卓球、カラオケに熱中する事

大谷 裕
①陸上競技大会で地方のランナーと会う事
②走れる事の喜びに感謝し自分とのたたかい
③人の集まる所に参加、孫とキャッチボールをする事

横田 和子
①年女！ 7度目は気楽に生きたいものですね
②昨秋返納した運転免許証に恥じない脚力大を
③良く眠り三度の食事を規則正しく摂る事

長岡 直司
①今年も健康第一、亥のまま一直線に進む
②毎日を家族愛犬を含めて明るい元気な日々を
③グラウンドゴルフと日々口ずさむカラオケ演歌

石井 すみ子
①明日に希望
清く 正しく 美しく

辻永 政春
①服用している薬を一つでも減らしたい
②今さら生きがいを語る歳でもないと思う
③一日一万歩行を目標にしている

深尾 圭子
①72才を頭において、猪突猛進
②縁の下の力持ちの精神
③週一回のヨガ教室
月一回の茶臼山へ上る

大平 勉
①今年も元気で明るく前進したいです
②孫と家族と温泉旅行
友達と日帰り温泉のんびり
③毎日8,000歩歩き日帰り温泉でゆったり

中上 好弘
①体には十分気をつけて元気で働きたいです
②孫の成長を見守り家族が明るく暮らすこと
③早寝早起き、なるべく体を動かすようにしています

北村 房治
①与えられた作業を無事に仕上げる、生活習慣
②孫、ひ孫と一緒に楽しく、生活できる事
③規則正しく毎日の行動を進んで行く、努力作り

山口 文男
①剪定を主に作業しています。また、絵画を3日に一度描いています。共通点があり役立ちます。ますます頑張って長く続けていこうと思っています

西岡 和義
①えごま油食べて体重6kg減を目指す
②卒寿まで牛ステーキを食べる事を生き甲斐とする
③生涯現役をモットーとして体を動かす事

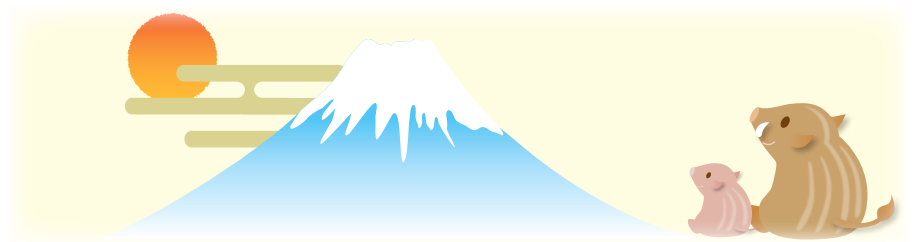
黒木 生也
①ゴルフでエイジシュートを出す事
②孫達の成長を見守る事
③ゴルフやジョギング等軽い運動をする事

岡田 小千代
①紹介していただいた今の仕事を続けて行きたい
②仕事友達と遊び、このまま続ける事
③無理な事イヤな事をしない、野菜はしっかり食べる

林 博之
①2030年も元気でいられるよう努力する事
②夢をもって生きる事
③歩く事

坂本 久子
①何事も一生懸命
②元気に仕事を続けられる事
③くよくよせずポジティブに

多氣 善朗
①健康に生活を送る
②適度な仕事で社会貢献できれば良い
③仕事をしている事



安全・適正就業委員会だより (傷害・賠償事故件数・年度別推移表)

安全・適正就業委員会 山中委員長のあいさつ

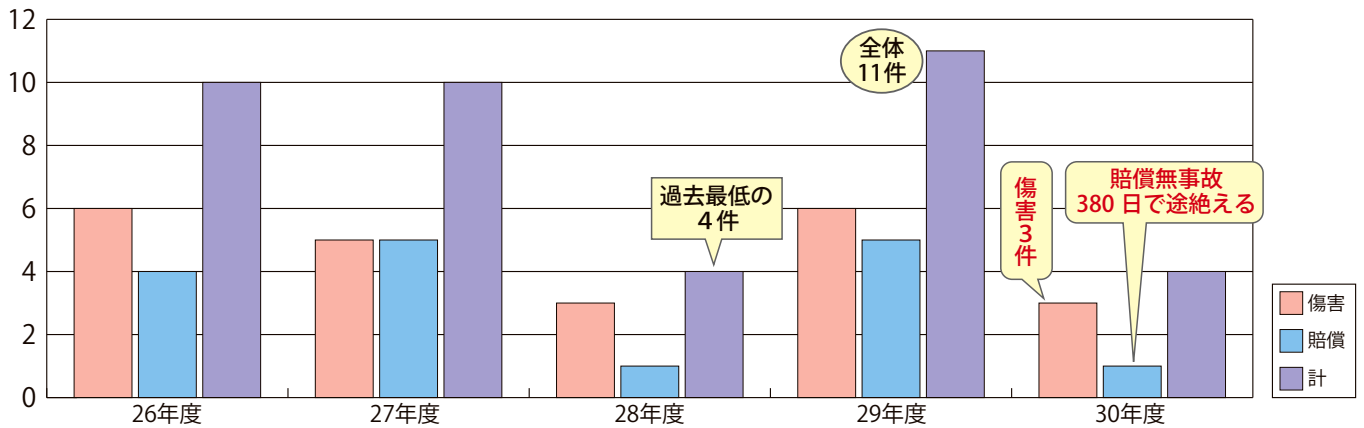
29年度は11件と事故が増え、改めて30年度には無事故挑戦を誓いあいました。剪定・除草のシーズンも終盤に近づきました。残念ながら傷害事故が3件発生し、その中で家事援助サービス班のバイク事故が2件でした。9月には家事援助サービス班会議で『交通安全講習会』を実施しました。

薄暗い時期になり、特に行き帰りや移動の時には安全運転を心がけていただき注意をお願いします。

賠償無事故を約1年間継続しましたが剪定作業で隣家の車に木屑が飛散した事故が発生しました。

30年度の事故は合計4件となり、現在のところ前年より半減し、過去最良の結果で推移しています。

残り約3ヵ月間を無事故で終われますように全会員のご協力をよろしくお願いいたします。



① 30年度 傷害発生内容

No.	性別	年齢	発生日	就業区分		発生場所		傷害内容		
				就業群	途上	地域	屋外	傷害程度	傷害部位	事故の状況
1	女	70	5月21日	家事援助サービス班	バイクで交通事故	栄町	交差点	通院中	むちうち症	シルバーの家事援助サービス班会議終了後にバイクで帰宅途中、交差点で左折時に乗用車に追突された。
2	女	64	7月17日	家事援助サービス班	バイクで交通事故	桔梗が丘西	交差点	通院6日	背骨骨折 股関節ひび	家事援助サービス班で次の就業先へ向かう途中にバイクで乗用車と接触し転倒した。
3	男	76	11月15日	除草班		八幡工業団地	法面	通院約1ヵ月	左足膝 半月板損傷	法面の草刈り後草の集草をして、ブルーシートを引っ張っていたところ転倒した。

家事援助サービス班会議で交通安全講習会を実施 (9月21日(金) 38名出席) 『バイク事故をなくそう』

『事故の要因を撲滅するため』
ヒヤリ・ハットの提出をお願いします。

30年度実績 (4月～10月)
●除草班 50件 ●家事援助サービス班 3件

② 30年度 賠償発生内容

No.	性別	年齢	発生日	就業区分		損害区分		賠償 事故の状況
				就業群	場所	起因物	状態	
1	男	76	11月30日	剪定班	百合が丘	チェーンソーで枝落とし	隣家カーポートに駐車していた車	チェーンソーの枝落としした木屑が隣の車に飛散しフロントボディに覆いかぶさった。

賠償無事故記録が380日(約1年)で途絶えました。改めて再スタートです。

福祉・家事援助サービス委員会だより

シルバーいきいきフェスタ 2018

10月25日(木)、ふれあいセンターよりバスに揺られ出発進行。
 バスの中では日頃の仕事、楽しい就業先での事、また悩み等口々に話している間に、はや三重県総合文化センターに到着。
 フェスタでは、パネルの展示、手作り作品の即売会・作品展示、桑名市による会員経験発表、松阪市・志摩市・いなべ市によるアトラクション、日本心身科学協会理事長の橋元慶男氏による「笑い人間関係」の講演があり、「つらい時ほど笑いましょう。笑いは神の贈り物である。」など、ためになる話を聞かせていただきました。



班長さん5名で手作り



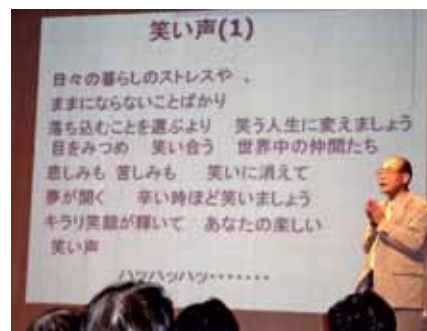
作品展示



マスクがいっぱい売れました



今年は特においしかった!



楽しい講演

「福祉・家事援助サービス月間」奉仕・啓発活動を行いました

12月3日(月)、朝から雨が降っていましたが作業を始めるころには日がさしてとても気持ちの良い日となりました。

始めに亀井市長から「地域社会の役に立ち喜ばれるシルバー人材センターの皆様である様頑張ってください。」とお言葉をいただきました。

29名の参加者により、奉仕作業では市民広場の落ち葉掃除を行い、見違える程きれいになりました。

啓発活動では、例年に比べ当日は市役所の利用者が多く沢山の方にチラシを配布でき、大いに当センターをアピールすることができました。

いつまでも健康で長生きし皆様に喜ばれる会員でありますように、シルバーパワーで頑張りましょう。



正面玄関で声を張り上げ
シルバーのピラ配り



楽しく頑張る会員さん



広場が見違える程
すごくきれいになりました

平成30年度“シルバーの日”〈奉仕活動〉

毎年、恒例の地域ボランティア活動「シルバーの日」が10月13日(土)に県下一斉で行われました。当センターも各地区に分かれ奉仕活動を行いました。

(基幹) 班名	実施場所	参加者数
名張(基)	名張市総合福祉センター 他	43名
赤目(基)	錦生市民センター周辺 他	54名
桔梗が丘(基)	桔梗が丘市民センター周辺 他	26名
北(基)	さつき台集会所 他	40名
南(基)	つつじが丘全域	38名
剪定	名張市総合福祉センター	11名
黒田作業所	作業所周辺・ごみの収集	13名

合計 225名



みなさん
ご協力ありがとう
ございました



参加されたみなさん

「とれたて! なばり 2018」

11月10日(土)、11日(日)の二日間、名張市役所広場において「とれたて! なばり 2018」が開催され、当センターからはシルバー事業の普及啓発を図るため、特設ブースを設けて、恒例となっている、うどん・フランクフルト・お茶・焼きいも・野菜等の販売を行いました。

さらに、理事が会場内で当シルバーの普及啓発パンフレットとポケットティッシュの配布など、シルバーの啓発活動を行いました。特設ステージでは、出演者のトップバッターとして、創立30周年記念式典のためにあつらえた専用の衣装で「河内おとこ節」、紅白のリズムボタンを使って元気に体を動かす「健康げらげら体操」、「うめぼしの歌」などの元気体操を観客席も一緒になって笑顔いっぱい演技披露しました。

前年と違って変わって、両日とも穏やかな天候に恵まれ暖かかったため、うどんの売れ行きが心配されましたが、早くもお昼過ぎには完売し、野菜等の販売についても好評で、瞬く間に売り切れてしまうほど盛況のうちに終えることができました。

両日ともに非常に有意義な名張市シルバー人材センターの「PRイベント」となりました。

参加準備委員会の皆様、役員、職員の皆様、本当にお疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。



早朝より新鮮野菜
飛ぶ様に売れました



皆様 普段より若々しく
元気はつらつ

寿会（互助会）だより

寿会役員会報告

- 第3回役員会** 平成30年6月27日(水) 平成30年度：定期総会総括・役員体制・役割分担確認
平成30年度：親睦旅行・長寿祝いの会・寿学校の取組み
- 第4回役員会** 平成30年8月23日(木) 平成30年度：日帰り・一泊親睦旅行の日程並びに行き先決定
平成30年度：長寿祝いの会 式典日程・会場及び式典内容決定
- 第5回役員会** 平成30年10月4日(木) 平成30年度：日帰り親睦旅行・長寿祝いの会 最終打合せ
- 第6回役員会** 平成30年10月24日(水) 平成30年度：日帰り親睦旅行 総括
寿学校修了式・第2期生募集要項 伊賀シルバー互助会と交流会等

伊良湖・豊川方面日帰り旅行 平成30年10月14日(日)

8時、65名地域班ごと2台のバスに分かれ薄曇りの中、出発。

今回はMKツアーズを利用し、私達2班は加藤ガイドさんより名所を聞きながら暫くは車中で会員同士くつろぐ。

バスは一路鳥羽港に向け走る途中、嬉野インターで休憩。その頃には次第に天気もよくなり絶好の旅行日和。予定通り鳥羽港発10時45分の伊勢湾フェリーに乗り伊良湖港へ向け出発。海の匂いに誘われデッキに出て見渡す景色は、空は青く海は穏やか、小さな島々、そこで暮らす民家と波間に浮かぶ大型タンカー。目に映るゆったりした風景。風も気持ちよく、我々の住んでいる盆地と違い、久しぶりに見る海は日頃の生活から離れのんびりさせてくれるひと時。昔懐かしい童謡（海は広いなー大きいな 月がのぼるし日が沈む）を自然と思い出す。暫く海に見とれていると、船首にあたる海水の碎け散る荒々しい波の音。外海に出たのか、フェリーの揺れも激しくなる。船酔いするのではないかと少し不安を感じるが、数分後に船の揺れも少なくなりひと安心。

船に乗っている時間は1時間足らずでしたが、伊良湖港到着までにいろいろと楽しませていただきました。その後、バスに乗り伊良湖ビューホテルで昼食。懐石料理、お酒飲み放題、美味しくいただく。食後ホテル屋上から見る恋路ヶ浜、その先には広がる大きな海、青い空。最高に綺麗で思わず写真を撮りました。一息つき次の目的地、蒲郡ミカン狩りに向け出発。腹も膨れひと眠り約2時間後、蒲郡オレンジパーク到着。店の人からお土産用として持ち帰れる1kg入る籠を渡され、いざミカン狩りスタート。初めてのミカン狩りは味見に時間を取られ、ふと見ると周りに仲間の姿が少なく、急いでミカンを取り籠に入れる、そんなあわただしいミカン狩りでした。

今回の日帰り旅行は初めての参加、久しぶりの船の旅、初めてのミカン狩りを楽しませていただきました。企画されました寿会幹事に御礼申し上げます。

北中校区 犬飼 孝芳 記



恋路ヶ浜



30年度 給付金・助成金支払い状況

平成30年12月1日現在

月	健診料助成		入院見舞金		香典	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
4						
5			2	20,000	1	5,000
6						
7	12	31,500				
8	19	42,100			1	10,000
9	43	103,400			2	15,000
10	37	83,200	1	10,000		
11	38	86,700			2	10,000
合計	149	346,900	3	30,000	6	40,000

項目	件数	人数	金額
クラブ助成金	9	146	270,000
地域班懇親会	1	11	11,000
職域班懇親会	3	34	34,000
シルバーの日	14	225	225,000
長寿祝い金		23	230,000
合計	27	439	770,000

寿会（互助会）だより

寿学校

平成30年4月、寿学校を開校して早いもので、あと一回の授業を残すところとなりました。これもひとえに講師の皆様並びに関係各位のご協力の賜と感謝いたします。授業内容は、名張の歴史を学び市内の各所旧跡、市の施設等の見学をはじめ市の取り組みと議会の傍聴、さらには交通安全、がんのメカニズムと対策など受講生は終始熱心に学び名張の新たな発見も多くありました。



夏見廃寺裏の興福寺礎石跡にて



開校式



長寿祝いの会

平成30年度、喜寿を迎えられた会員は23名です。11月21日(水)、名張市総合福祉センターで「長寿祝いの会」を行いました。当日は7名が参加されました。

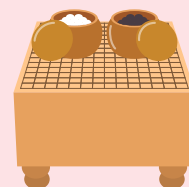
寿会会長、理事長の祝辞があり、出席者の紹介とお祝い金の贈呈のあと記念写真におさまりました。懇親会では、家事援助班有志による「元気体操」や石場氏のマジックで終始元気と笑いで盛り上がりました。出席者からは“こんなに楽しい「祝いの会」に参加して本当に良かった”との感想が述べられました。



囲碁クラブ
よりお願い

女性会員さんの囲碁クラブ入会者を募集中です。初心者の方もふるってご参加される様お待ちしております。

みつはし
三鶯 博久 ☎ 65-0917



名張市シルバー人材センターの会報の変遷について

当センターの会報は、平成12年3月に「名張市シルバー人材センター会報」として第1号が創刊されました。以降、第9号会報（平成17年1月発行）まで同名称で刊行されましたが、第10号会報（平成17年8月発行）の発刊に際して、「会報に愛称（ネーミング）を」といった意見が多数寄せられました。

このため、会報のネーミング募集を実施し、応募総数30点の作品の中から厳正に審査した結果「会報ゆうゆう」という愛称に決定され、第10号から現発行の第43号まで「会報ゆうゆう」として刊行されてきました。

表紙を飾る文字「ゆうゆう」は、当時の理事長中山三郎氏に揮ごうしていただいたものです。

会報は、創刊以来19年間にわたり刊行され続け、この間、名称や年間の発刊回数の変更など様々な変遷を経て現在に至っていますが、今後とも、当シルバーの情報発信の柱として会員の皆さんに愛され親しまれる「ゆうゆう」であり続けたいと考えています。さらなるご愛読の程よろしくお願いいたします。



創刊号



第10号



最新号

— 会員の皆様へ —

平成31年度「会員更新」をお願いします

平成31年度の会員更新の手続きをお忘れなくよろしくお願いいたします。各会員には2月初旬に文書を送付させていただきますので、平成31年3月22日（金）までに事務所にて更新手続きをお願いします。

確定申告お忘れなく

平成30年分の確定申告が必要な会員は申告を行ってください。30年分の「配分金の支払明細書」や「給与支払証明書（シルバー派遣対象会員）」は1月中に各会員に事務所より送付いたしますのでご確認ください。

安全標語を募集しています

センターでは、平成31年度からの「安全標語」の作品を募集しています。詳細は応募用紙を参照下さい。多くの会員の応募をお待ちしています。応募いただいた作品は、厳正な審査を経た上で最優秀賞等が決定され、記念品とともに表彰されますので奮ってご応募下さい。

お詫びと追記

本誌前号（平成30年7月15日発行・第42号名張市シルバー人材センター設立30周年記念号）において、当記念式典にご臨席いただいた来賓の皆さまをご紹介させていただいたところですが、不手際により「三重県シルバー人材センター連合会副会長で亀山市シルバー人材センター理事長の安藤定紀様」のお名前が記載漏れとなってしまいました。ここに改めてご紹介させていただきますとともにお詫び申し上げます。

あしがき

この会報をご覧いただいている会員の方々には「平成」という時代をどう過ごされたのでしょうか？いろいろな出来事があり、それを「自分史」や「絵巻物」にしたためられたのでしょうか？

この春には新天皇が即位され、新元号が誕生します。

私共も次の時代に向けて元気に過ごし、活躍してゆきたいものです。

会報編集委員会

委員長 佐藤 篁	副委員長 水本龍蔵	委員 足立尚義	委員 甲斐恒子	委員 荻田君代	オブザーバー 堀出良夫 (副理事長)	事務局 北川奈美代
-------------	--------------	------------	------------	------------	--------------------------	--------------

ゆうゆう 43号に掲載された記事についてご意見等お寄せ下さい。

公益社団法人 名張市シルバー人材センター 〒518-0718 名張市丸之内79番地 TEL0595-63-6800 FAX0595-64-5668
ホームページ <http://www.nabari-silver.or.jp/> Eメール info@nabari-silver.or.jp